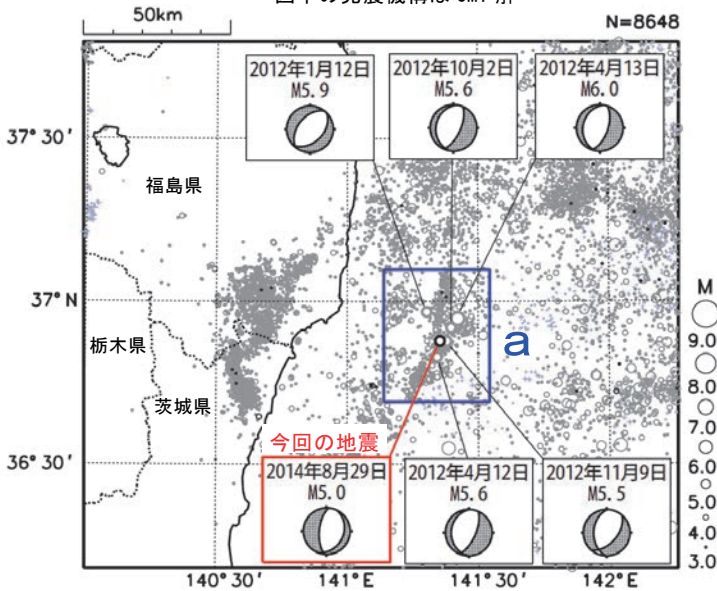


8 月 29 日 福島県沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2014 年 8 月 31 日、
深さ 0～40km、 $M \geq 3.0$)

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、
2014 年 8 月の地震を濃い○で表示
図中の発震機構は CMT 解



2014 年 8 月 29 日 16 時 35 分に福島県沖で M5.0 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT 解) が西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレート内で発生した。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 a) では、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以前には M3.0 以上の地震はほとんど発生していなかった。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、地震活動が活発化し、2012 年 4 月 13 日の M6.0 (最大震度 4) など M5.0 以上の地震が時々発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) では、1938 年 11 月 5 日に M7.5 の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた。また、この地震により、宮城県花淵で 113cm (全振幅) の津波を観測した (「日本被害地震総覧」による)。この地震の発生前後、広い範囲で M7 クラスの地震が数回発生するなど、地震活動が活発になった。

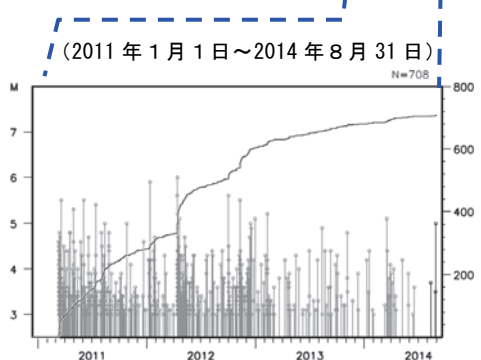
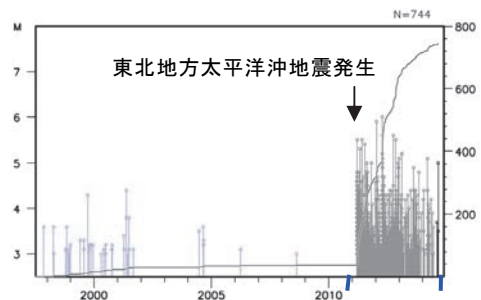
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2014 年 8 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)

2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

